

このたびは日立LED照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

LEC-EC001Cは器具本体NC4Aと光源ユニットCE404NA-J14の2つの製品を同梱したものです。

それぞれの製品には取扱説明書が同梱されておりますが、ビルなどの施設への設置、使用を目的とした記載になって

います。一般家庭への設置、使用については本取扱説明書を参照し、保証書とともに大切に保存してください。

**工事店様へ** この説明書は、工事終了後、お客様にお渡しください。

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

### 危害や損害とその程度の区分



#### 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



#### 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

### 絵表示の例



「警告や注意を促す」内容のもので



してはいけない「禁止」内容のもので



実行していただく「指示」内容のもので



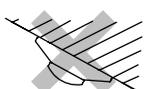
### ●このような場所には取り付けない(この器具は天井取り付け専用です)



禁止



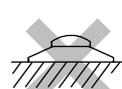
押すと簡単にたわむ  
補強のない天井



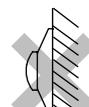
傾斜天井



舟底天井  
取り付け面が凹凸



上向き取り付け



横向き取り付け

※器具が落下し、けがや火災・感電の原因になります。

### ●器具の取り付け工事は、電気工事店(有資格者)に依頼する

※しろうと工事は危険です。

また、法律で禁じられています。

### ●器具の改造、分解、構成部品(LED光源など)の交換はしない

※火災・感電・故障の原因となります。

### ●器具のすきまに金属類(ヘアピン・針金など)を差し込まない

※感電・故障の原因となります。

### ●器具に布や紙・ポリ袋などをかぶせない

※過熱し、火災の原因となります。

# 安全上のご注意(続き)

## 注意

- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)以外の電圧で使用しない  
※火災・感電の原因となります。
- 浴室などの湿気の多い場所や、常時温度の高い場所(35℃以上)では使用しない  
※絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。
- 調光器では使用しない(100%点灯でも使用不可)  
※過熱し、火災の原因となります。
- 取り付け、取り外し、お手入れの際は電源を切る  
※電源を切らないと感電の原因となります。
- 器具の真下にストーブなどを置かない  
※過熱し、火災の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をお勧めします。点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至るおそれがあります。
- 屋外で使用しない(この器具は屋内専用です)  
※火災・感電の原因となります。
- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので触らない  
※やけどの原因となります。
- 器具にボールなどの物をぶつかけたり、衝撃を与えない  
※器具の落下によるけがの原因となります。
- カバーを強く押ししたり、つかんだりしない  
※カバー破損によりけがの原因となります。

# 使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- LED素子の発光色などのバラツキのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

# 各部の名称と使いかた

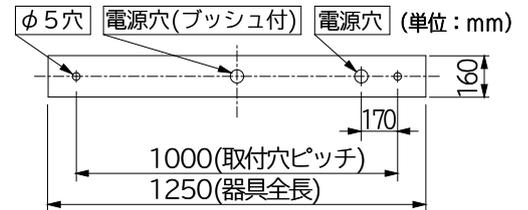
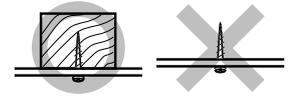
※取り扱いを説明するため、一部省略抽象化した共通図を使用しています。

## 1. 器具を取り付ける前に



必ず守る

- 器具は強度的に十分な場所(補強材のある場所など)に取り付ける  
※強度的に不十分な場所(板厚の薄い場所やテックスなど)は、器具の落下によるけがの原因となります。

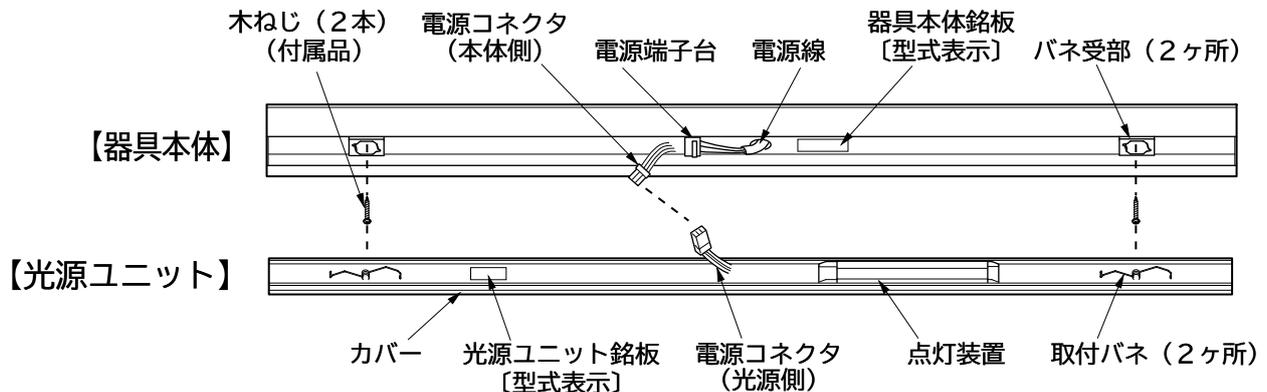


禁止

- プラスチック製アウトレットボックスには取り付けない  
※器具の落下によるけがの原因となります。

## 2. 各部のなまえ・付属品

- 下記の図を参照して、各部品をお確かめください。  
※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。



# 器具本体の取り付けかた

1

## 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。



必ず守る

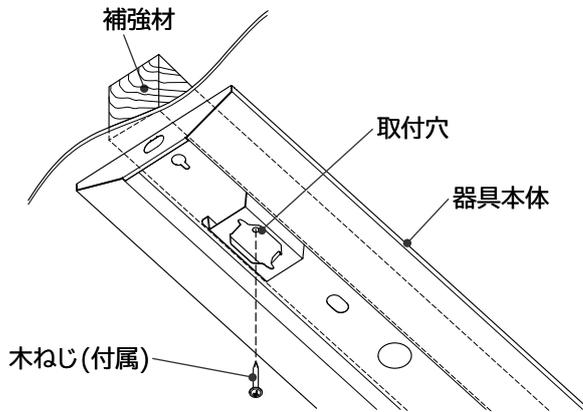
●器具の取り付けの際は、**電源を切る**

※電源を切らないと感電の原因となります。

2

## 器具本体を取り付ける

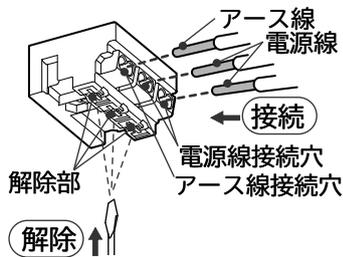
- 電線を器具本体の電源穴(ブッシュ付)に通したあと、器具本体を付属の木ねじ2本で、補強材のあるところに取り付けます。  
他の電源穴から引き込む場合は、ブッシュを付けかえます。



3

## 電源線・アース線を電源端子台に接続する

- 電源線・アース線を指定の長さにストリップし、接続穴にしっかり差し込みます。
- 電源線を解除する場合は、ドライバーで解除部を押してはずします。
- アース工事はD種接地工事を行ってください。



定格容量  
20 A

適合電源線  
φ1.6 φ2.0 の単線  
電源線ストリップ長さ  
12 mm



必ず守る

●電線の接続作業時は**必ず電源を切る**

※電源を切らないと感電の原因となります。

●**確実に電線を接続する**

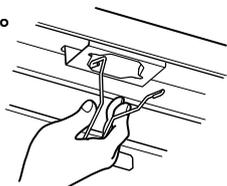
※接続が不完全な場合は、接続不良による発熱・火災・感電の原因となります。

# 光源ユニットの取り付けかた

## 1 取付バネ(2か所)をバネ受部に引っ掛ける

- 光源ユニットを点灯装置が電源端子台に当たらない向きに合わせます。  
※向きが合っていないと取り付けできません。

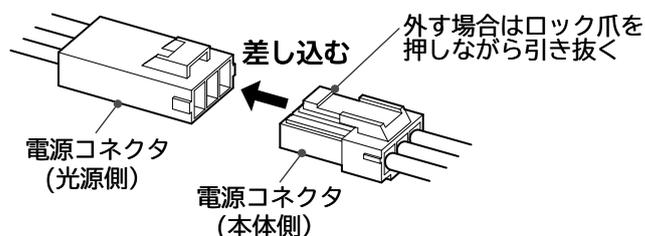
- 取付バネをすぼめ、バネ受部に差し込み引っ掛ける。



- 外す場合は、取付バネをすぼめる。

## 2 電源コネクタを接続する

- 「カチッ」と音がするまで差し込みます。  
※接続に不備があると火災、感電の原因となります。



禁止

- コネクタや電線を無理に引っばらない

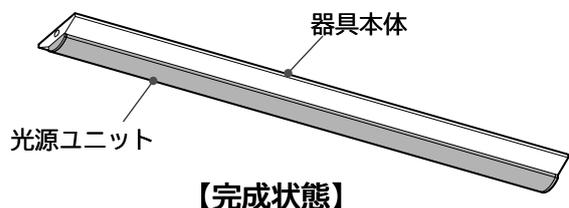
※電線が断線し、発熱・火災・感電・故障の原因となります。

## 3 光源ユニットを押し上げ、器具本体に取り付ける

- カバーを強く押し下り、つかんだりしないでください。  
※カバー破損によるけがの原因となります。

- 光源ユニットが浮いていないことを確認してください。

## 4 電源を入れ、点灯確認する



※取り外す場合は、カバーを引き下げ上記の逆の手順で行ってください。

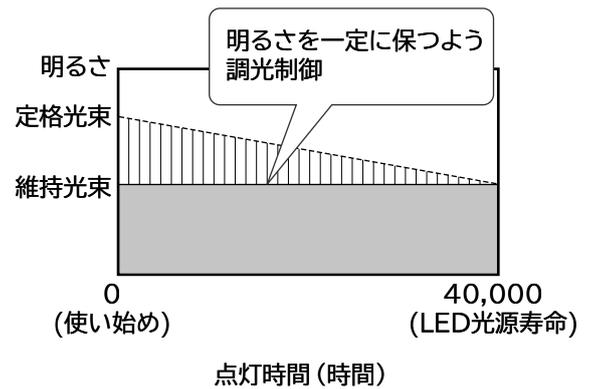
# 初期照度補正機能について

●初期照度補正機能とは、器具の使い始めからLED光源寿命付近まで同じ明るさを保つよう自動的に調光制御する機能です。

そのため、使い始めは電力を低くして、LED光源寿命付近で定格消費電力になるよう徐々に電力をあげます。

ただし、その間消費電力の最大値は定格消費電力を超えることはありません。

明るさを重視した使い方をするときは照度補正機能を解除して、その時点での100%の明るさ(定格消費電力での点灯)にすることもできます。

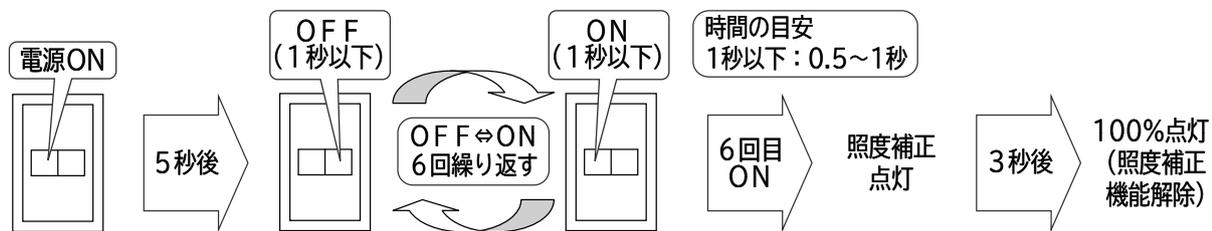


## 初期照度補正機能を解除したい場合

照度補正機能を使用しない場合は、次の操作(手動リセット)をしてください。

●電源ONにして、下図の操作を行ってください。

\*操作後、明るさが変化しない場合は、解除操作が正しく行われていません。再度、解除操作を行ってください。



●照度補正機能に戻す場合も上記の操作を行ってください。(累積点灯時間はリセットされます。)

## ご使用上の注意

- 器具の汚れに対する補正はできません。定期的に清掃をしてください。
- ホタルスイッチと組み合わせて使用すると、手動リセットが動作しない場合があります。ホタルスイッチは2ヶ所までとしてください。

# お手入れ

●常に明るくご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。



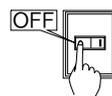
- お手入れの際は、必ず電源を切る  
※電源を切らないと感電の原因となります。

必ず守る



- みがき粉・ベンジン・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり、熱湯や殺虫剤をかけない  
※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。

必ず守る



## 器具のお手入れ



- 器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とす。汚れが落ちない場合は、柔らかい布に石けん水を浸してよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げる

必ず守る

※石けんとは天然油脂を原料としたものです。(商品表示が“石けん”であることを確認してください)

## 器具取り扱い上のご注意



接触禁止

- 点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているので、触らない  
※やけどの原因となります。



# 仕様

この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	定格電圧	定格周波数	定格消費電力
LEC-EC001C		交流100~242V	50/60Hz共用	30.7W

# 保証とアフターサービス

## 保証書（別添）

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、そのほか天災地変、ガス害（硫化ガスなど）、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (ホ) 業務用または過酷な条件のもとで使用されて生じた故障または損傷。

保証期間	お買い上げ日から、LED光源基板・電源基板：3年、本体：1年です。（詳しくは保証書をご覧ください。）
------	--

- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、修理させていただきます。
--------	---

保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
---------------	-------------------------------------

## 使用中に異常が生じたときは

故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

- 修理を依頼されるため、製品を販売店にお持ちの際は、アダプタもご一緒にお持ちください。

## お知らせいただきたい内容

- 1.型式：LEC-EC001C  
(器具本体：NC4A、光源ユニット：CE404NA-J14)
- 2.症状：できるだけ詳しく

## 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 転居されるとき

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

## 修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

## 日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

[http://kadenfan.hitachi.co.jp/q\\_a/index.html](http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html)

修理に関するご相談は  
エコーセンターへ

TEL 0120-3121-68  
FAX 0120-3121-87

(受付時間) 9:00~19:00(月~土)、9:00~17:30(日・祝日)  
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は  
お客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11  
FAX 0120-3121-34

(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)  
年末年始は休ませていただきます。  
携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。